

(社)全日本鍼灸学会

平成 22 年度 第 2 回理事会 会議議事録要旨

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 22 年 7 月 25 日(日) 午後 1 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所：東京衛生学園専門学校 505 教室（東京都大田区大森北 4-1-1）

II. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭
挨拶：会 長 後藤修司
議 長：会 長 後藤修司

議事に先立ち、後藤会長から挨拶があった。

【報告事項】

1. 各部中間事業報告（平成 22 年 4 月～平成 22 年 7 月）

1) 事務局

福村事務局長から、資料に基づき報告があった。

2) 学術部

篠原学術部長から資料に基づき報告があった。

8 月 22 日定款等改正委員会において、学術大会の開催地決定の流れについて検討を行うことが報告された。後藤会長から、従来の学術大会で「大会会長」とあった職名を第 60 回大会から「会頭」とし、今後も会頭で統一するよう要望があった。

3) 編集部

坂口編集部長から、資料に基づき報告があった。

4) 組織部

安藤組織部長から、資料に基づき報告があった。

5) 国際部

高澤国際部長から、資料に基づき説明があった。

6) 研究部

山下研究部長から、資料に基づき報告があった。

小川副会長より常務理事（部長）は兼任できないとの指摘があり、ベストケース集積委員会の委員長として古屋理事を軸に後日検討することになった。

7) 広報部

金井広報部長から、資料に基づき報告があった。

以上、了承された。

2. 財務報告

小川副会長より収支決算の中間報告を行った。

3. 認定委員会中間報告(平成 22 年 6 月～7 月)

福村昭認定委員会事務局長から資料に基づき報告があった。

4. 第 60 回学術大会準備報告

妹尾実行委員長より、8 月 22 日の第 4 回東京宣言委員会で東京宣言を確定する予定であり、業者はトップツアーに決定した旨、報告があった。

5. JLOM 関連委員会報告

東郷委員長より資料に基づき報告があった。

また、厚生労働省から JLOM を通じて依頼があった、WHO 西太平洋事務局による各国における伝統医学の現状についてのヒヤリングが 7 月 19 日に行われ、鍼灸の現状について後藤会長と東郷理事

が説明を行ったことが併せて報告された。

6. その他

(1) 鍼灸医療推進研究会活動報告

小川副会長から報告があった。今年度が最後となり、成果物を出すことになっている。今後も活動をおこなっていくが、公益事業と認められるかどうか費用拠出の面で問題になってくるとの説明があった。

【審議事項】

1. 入会審査

平成22年6月11日から7月24日までの間に入会申請のあった者に対して入会審査を行った結果、全員の入会が賛成多数で承認された。

2. 会員名簿作成について

安藤組織部長から、資料に基づき説明があった。

小川副会長より、名簿発行積立金から支出するよう指示があった。

また、金井広報部長から、名簿掲載可否を聞く際にメルマガ・FAX通信を希望するかを追加してほしい旨、要望があった。

3. 各部署委員の選任について

各部署委員について審議を行なった結果、賛成多数で下記の通り承認された。

学術部

部長 篠原昭二

副部長 福田文彦

部員 粕谷大地、中吉隆之、伊藤和憲、木村啓作、関 真亮、谷口博志。

研究部

部長 山下 仁

副部長 古屋英治

部員 川喜田健司、角谷英治、高橋則人、井上悦子、金子泰久、木村友昭、小野直哉。

編集部

部長 坂口俊二

副部長 山田鑑照

部員 野口栄太郎、井上基浩、鍵谷方子、金子泰久、菊地友和、木村友昭。

組織部

部長 安藤文紀

副部長 津田昌樹、河井正隆

部員 武藤永治、妹尾匡躬、宇都宮信博、清水大一郎、田口敬太。

国際部

部長 高澤直美

副部長 石崎直人

部員 斉藤宗則

顧問 黒須幸男、津谷喜一郎、若山郁郎。

相談役 津嘉山 洋。

広報部

部長 金井正博

副部長 小松秀人

部員 酒井茂一(ITアドバイザー)、三瓶真一(IT)、秋森徹二(IT)、斉藤晴香(英語)

Thomas.Blasejewicz (HP 翻訳確認)、石丸圭荘(CD-ROM)、森 勇樹(ベストケース、HP 製作)

認定委員会

委員長 後藤修司
副委員長 坂本 歩
事務局長 福村 昭
委員 後日、正副会長協議の上、指名する

認定審査委員会

委員長 後日、認定委員会委員より指名
委員 後日指名

認定実務委員会

委員長 後日、認定委員会委員より指名
委員 後日指名

認定試験委員会

委員長 後日、認定委員会委員より指名
委員 後日指名

支部運営委員会

委員長 小川卓良
副委員長 安藤文紀
委員 篠原昭二、金井正博、小松秀人、福田文彦、武藤永治、妹尾匡躬、津田昌樹、宇都宮信博、清水大一郎、鳥谷部創治、小椋賢二、南雲三枝子、福村 昭、

定款等改正検討委員会

委員長 安雲和四郎
副委員長 小川卓良
委員 坂本 歩、安藤文紀、妹尾匡躬、津田昌樹、福村 昭

JLOM 関連委員会

委員長 東郷俊宏
委員 坂部昌明

データベース委員会

委員長 山下 仁
委員 古屋英治、井上悦子、川喜田健司。

国際シンポジウム委員会

委員長 高澤直美
委員 後日選任

参 与

形井秀一、川喜田健司、北小路博司、坂本 歩、中村辰三、無敵剛介、安雲和四郎、若山育郎、渡 仲三

黒須幸男氏、黒野保三氏を名誉会員として推挙し、来年度総会にて承認を得ることとなった。また、顧問については会長に一任することになった。

4. 関連 4 団体会員の入会金免除覚え書きの件

安藤組織部長から説明があった。日本東洋医学系物理療法学会と日本良導絡自律神経学会とはまだ締結をおこなっていないため、現段階では、日本伝統鍼灸学会と日本臨床鍼灸懇話会との間のみ入

会金免除を行なえることを確認した。また、JSAM ホームページの入会案内の所に入会金免除についての記載を行うこととなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 加盟校以外の学生一括入金処理について

福村事務局長から説明があった。審議の結果、東洋療法学校協会に加盟していない学校において、一括入金を行う場合は入会審査は行わず、会費は1年5000円とすることが賛成多数で承認された。学校協会に加盟していない学校が増えている現状を鑑み、今後学生会員の扱いについて検討を行っていくこととなった。

6. 認定得点管理用バーコードの導入について

金井広報部長より、関東支部学術集会においてスマートピットを使って会費徴収を施行する旨、報告があった。このシステムを使って認定得点を管理できるかどうか、関東支部での運用を元に検討を行っていくことになった。

JCB カードは会費徴収における事務手続き簡略化に有用である。一方、スマートピットなど、会員全員が持つことのできるカードで講習会への出席状況などを管理することにより、講習会参加にメリット（他団体での講習会の履歴を本団体での単位として認めるなど）をもたせることができる。今後は、JCB カードの保有者への会費割引といったメリット付与を視野にいれつつ、カード類を検討していくこととなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

7. 組織図の英訳について

高澤国際部長から資料に基づき説明があった。審議の結果、賛成多数で承認された。

8. その他

(1) 鍼灸の歴史パネルのHPについて

安藤組織部長より第59回学術大会で使用した歴史パネルのHP掲載の進捗状況について報告があった。英文化については国際部・広報部が中心となってあたる。翻訳作業は、翻訳会社への委託、用語委員会による訳の適切性の検討も視野に入れ進めていくこととなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

尚、早急の使用許諾をとり作業を進める。（英文化については、国際部・広報部で委託先など検討する）800字×10枚 メールで国際部に送ることも合わせて了承された。

(2) 学術大会の開催地決定方法についての覚書

篠原学術部長より、学術大会の開催地決定方法についての覚書については、8月の定款改正委員会で検討し、次回の理事会に提出する旨、報告があった。

(3) 支部学術集会参加費について

津田中部支部長より、支部学術集会参加費を認定者・非認定者で格差をつけるという案がでている旨、報告があった。試験的に行い、様子を見ることとなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

(4) 英語版・中国語版のパンフレットについて

高澤国際部長より、資料に基づき説明があった。パンフレット掲載の写真に関して再検討を行う。ホームページ用に森ノ宮医療学園専門学校より許可を得ている写真に関しては、改めてパンフレットへの掲載許可を得て、掲載することとなった。内容に関しては、学術部が案を出し、国際部とともに詰めていくこととする。審議の結果、賛成多数で承認された。

尚、動物はのっていない写真、現代鍼灸の写真の再検討、浮世絵の削除、鍼灸教育の現状、国家資格であること、日本最古の医学書として医心方の紹介、長浜夢分流の腹診図、中国との学術交流の歴史、日本発祥の管鍼法、皮内鍼、良導絡等を加味した掲載内容とするよう要望があり、合わせて了承された。

(5) WFAS サンフランシスコ大会について

高澤国際部長より、後藤会長からも奨励があった、WFAS サンフランシスコ大会での発表に関して、国際シンポ積立金より補助を出す旨の提案があった。テーマは国際部・研究部・学術部で検討し、委託研究として演題を募集、メールマガジンに掲載することとなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

認された。

(6) 東京宣言の位置づけについて

福田学術副部長より、東京宣言の位置づけを確認する発言があった。東京宣言は理事会が承認し学会として公表するものとするのが、賛成多数で承認された。また、金井広報部長より、ニュースプレスを行う良い手段があれば、広報部まで知らせてほしいとの要望があった。

(7) 投稿規程の修正と抄録号・雑誌とのすみわけについて

坂口編集部長より、投稿規程の修正についての確認と、抄録号・雑誌とのすみわけの検討を要請する発言があった。投稿規定の修正は原則として編集部が行い、理事会に報告することが、賛成多数で承認された。また、抄録号と雑誌とをすみわけることによって抄録号の軽量化が図れるが、MEDLINE への掲載を視野におく必要がある。これらの問題点を中心に、今後検討していくこととなった。

尚、学会 HP 上の投稿規程に誤りがあり、HP・学会誌で訂正を行う

(8) 宇宙鍼灸科学研究会について

後藤会長より、明治国際医療大学今井賢治先生が主宰する宇宙鍼灸科学研究会についての説明があった。学会はこの研究会学会の趣旨に賛同し、本学会の窓口は山下研究部長、福田学術副部長とすることとなった。審議の結果、賛成多数で承認された。

以上、了承された。

以上をもって平成 22 年度第 2 回理事会の議事をすべて終了した。